

被服一般に関する消費者問題の現状(第3報) - 履物一般について -  
 東京家政大学政 ○吉原富子 野崎千穂子 石久保鈴子 猪俣美知子  
 大森和子

目的 第1報, 第2報の観点からマスコミにあがった消費者問題関連記事などから「履物一般」についても現状把握を試みた。また同時にそれら消費者問題に関してしらべることが目的とする。

方法 朝日, 日本経済, 毎日, 読売新聞などの履物一般に関する消費者問題関連記事を項目ごとに抽出した。

結果 履物一般は, 分類すると, 紳士靴, 婦人靴, ブーツ, レインシューズ, および運動靴等となり, 問題項目としては, 安全性, 表示, 価格に加え靴を購入するさいポイントとなる履き心地(運動的機能), デザイン, 色, 材質, 保管方法, 修理などが列挙された。関連記事件数は変動があり, 年次的に顕著な傾向はみられなかったが, 昭和56年に履き心地(運動的機能)についての記事が数多くみられ, 健康面からも重要視されたことがうかがえた。また素材による洗濯性, 吸湿性, 仕上げの問題, かかとの材質からみた安全性, 寸法についての表示など多方面から問題提起もなされた年で特徴的であった。